JNTO
日本政府観光局

2021 年 4 月

MICE アンバサダーに新たに 3 名就任いただきました！

日本政府観光局（JNTO）では、国際会議の日本への誘致・開催を推進するため、新たに 3 名を MICE アンバサダーに任命しました。
MICE アンバサダープログラムは、学術分野や産業界において国内外に対し強い発信力やネットワークを持ち、日本の顔として「国際会議開催地としての日本」の広報活動や国際会議の誘致活動に寄与いただける有識者の方々を「MICE アンバサダー」として任命し、その活動に対して支援を行う制度です。
現在総勢 69 名に就任いただいており、JNTO では今後も「MICE アンバサダープログラム」を効果的かつ強力に展開することにより、更なる国際会議の誘致に努めます。

◆この度新たに就任した MICE アンバサダー

（※敬称略）

梶田　隆章（かじた　たかあき）

日本学術会議会長

東京大学　宇宙線研究所　所長

1986 年東京大学大学院理学系研究科物理学専門課程博士課程を修了。理学博士。東京大学理学部附属素粒子物理国際センター助手、同大学宇宙線研究所助手、同研究所教授などを経て、2008 年に東京大学宇宙研究所所長に就任。また、2020 年 10 月より、第 25 期日本学術会議会長に就任。1998 年に、それまでそれ自体に質量がないといわれてきたニュートリノについて、わずかながら質量があり姿を変えることを発表した。2015 年ノーベル物理学賞を受賞（授賞理由：ニュートリノが質量を持つ事を示す、ニュートリノ振動事象の発見）。

出口　祥啓（でぐち　よしひろ）

徳島大学大学院　社会産業　理工学研究部　教授

分光学分野の第一人者として、積極的に会議の誘致や開催を行っている。2020 年京都開催を予定していた国際会議『LIBS2020(11th International Conference on Laser-Induced Breakdown Spectroscopy)』がオンライン開催となった際は、国内外の関係大学と連携した「国際会議 ICT システムの構築」や地域と連携した「日本文化のプログラム」を実施し、議長としてウィズコロナの国際会議運営に努めた。日本での開催が 40 年ぶりとなる 2023 年開催予定の 43 回国際分光学会議も LED 関連産業等を推進している徳島県に誘致に成功した。今後も MICE を通して地域活性化の貢献や、世界への情報発信に期待できる。日本機械学会論文賞、日本自動車技術会論文賞、可視化情報学会技術賞等を受賞している。

Japan. Endless Discovery.

独立行政法人 国際観光振興機構　〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-4
企画総室　広報グループ　TEL: 03-5369-3342　FAX: 03-3350-5200
URL: https://www.jnto.go.jp

辻　佳子（つじ　よしこ）

東京大学　環境安全研究センター長・教授

安全安心かつ持続可能な未来社会を創成する上の礎となる「環境安全学」の専門家として、国内外の幅広いネットワークと強力な発信力を有する。 Asian Conference on Safety and Education in Laboratory (ACSEL)を 2014 年に立ち上げ、毎年、国際会議 program chair を務め、国を超えた共通の課題である研究開発現場における環境安全レベルの向上と安全意識の高揚、社会に輩出する人材の環境安全素養に関するグローバルな質保証について、議論を行っている。また、新たなオンライン・オンサイト併用学会開催形態を確立し、International Chemical Engineering Symposia 2021 実施に貢献している。

【お問い合わせ先】
MICE プロモーション部　誘致推進グループ　野村・康・西込
TEL：03-5369-6015　E-MAIL：conference_ambassador@jnto.go.jp